

春の叙勲

不断の努力と永年の功績が認められ

2009年春の叙勲で、市内から藤森清規さん(米山町齊藤)渡辺彰二さん(登米町前船橋)が瑞宝双光章、清野昭十郎さん(登米町西針田)菅原次男さん(中田町籠壇)が瑞宝単光章を受章しました。

瑞宝双光章



藤森清規さん(米山町・71歳)

昭和35年、米山町消防団に入団、以来45年の消防歴。平成12年から米山町消防団副団長として火災予防思想の普及や地域防災活動に尽力しました。平成8年に消防庁長官から永年勤続功労賞を受賞されています。

瑞宝双光章



渡辺彰二さん(登米町・77歳)

昭和25年、吉田村立桜岡小学校助教論として奉職。昭和61年に杜鹿町立谷川小学校校長、平成元年に迫町立佐沼中学校校長。平成2年から平成10年まで登米町教育長を務め、国際交流や情操教育に尽力されました。

瑞宝単光章



清野昭十郎さん(登米町・73歳)

昭和32年、登米町消防団に入団、以来46年の消防歴。平成7年から登米町消防団副団長として火災予防思想の普及や地域防災活動に尽力しました。平成7年に消防庁長官から永年勤続功労賞を受賞されています。

瑞宝単光章



菅原次男さん(中田町・61歳)

昭和42年陸上自衛隊に入隊。第22普通科連隊第2中隊、仙台駐屯地業務隊、第22普通科連隊本管中隊などに勤務。平成14年まで35年間、自衛隊員として国民の安全を守るとともに、後輩の指導にも尽くされました。

各会場で熱戦を展開

河北優勝旗争奪 登米市中学校野球大会



各会場で好ゲームが展開されました【佐沼中对登米中】

第32回河北優勝旗争奪登米市中学校野球大会が5月3、4日の2日間にわたり、市内の中学校10校が出場して、光ヶ丘球場・新田総合運動場(迫町)の2会場で開催されました。



開会式に望む市内中学校10校の選手たち

開会式では、(株)河北新報社販売部の砂金次長から「日ごろの練習の成果を十分に発揮し、来る中学校総合体育大会に向けて、各選手とも大いに活躍してください」と祝辞がありました。最後に南方可3年の佐藤京介主将が「日ごろの練習の成果を發揮し、フェアプレーで戦い抜くことを誓います」と、力強く選手宣誓しました。

大会では、各会場で好ゲームが繰り広げられ、4日の決勝戦は南方中と新田中が対戦。熱戦の結果4対0で南方中が優勝しました。大会期間中は各チームの保護者などから大きな声援が飛び交うなど、大変な盛り上がりを見せていました。

自然の大切さを学び資源を守る

市民参加の新たな森林づくり

「市民参加の新たな森林づくり」(県、市共催)が4月29日、津山町横山字大萱沢地区の市有林で行われました。水環境の保全や自然の大切さを広めようと、県と市が植林ボランティアを募集。市内の小学生や市民、遠くは互理町からと、県内外から多くの応募があり、約90人のボランティアが参加しました。

式では、布施市長が「皆さんが植樹した小さな苗木は何十年もかけて大きくなります。一本一本心を込めて植樹した木が成長する姿を、また見に来てください」と、話しました。その後、県森林インストラクターの山内日出夫さん(南三陸町)から近年の植樹が針葉樹から広葉樹に移りつつあることや野生動物と森林の関係などについて説明を受け、参加者は熱心に聞き入っていました。

また、その後、津山町林業研究会の佐々木寿光さんから植樹方法の説明を受け、参加者は山肌一本一本丁寧に植樹しました。植樹に参加した皆さんは「早く大きく育ってほしい」「また来年も植樹に参加したい」などと話していました。植樹終了後は、市から「もくもくハウス」で製作したストラップが参加者にプレゼントされました。



森林インストラクターから広葉樹森についての説明



市長とともに一本一本丁寧に植樹



森づくりに参加した植樹ボランティアの皆さん

防災ミニ情報

⑨長雨の後は 土砂災害に注意

これから梅雨の季節を迎えます。長雨や集中豪雨などによって地盤が緩んだり、地震によって亀裂が発生したりすると、土砂災害の危険性が一気に高まります。昨年6月の岩手・内陸地震においても、被災地の至る所でがけ崩れや地滑りが発生し、尊い命が犠牲になっただけではなく、道路などが寸断されるなど、現在も復旧や復興の大きな妨げとなっています。市内にも、急傾斜地などの立地条件によって、土石流や地滑りが発生する可能性が高い、約700カ所の危険箇所が確認されています。皆さんも、家庭や職場、学校などで身近な危険箇所について確認しておきましょう。

